

## 道徳科（人権）学習指導案

1 主 題 自分をみつめて

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

今なお残る部落差別に憤りをもたせるとともに、同和問題を自分自身の問題としてとらえさせ、差別解消に向けた意欲と実践力を育てる。

4 指導計画

『もしも就職するならば？職業ダイヤモンドランキング』（学級活動） 1時間  
 『許せない就職差別』（わたしの願い）  
 （道徳科，総合的な学習の時間） 3時間  
 『部落地名総鑑について』（わたしの願い）  
 （道徳科） 1時間  
 ・本人の適性或能力に関係なく差別選考されることに憤りをもたせるとともに，すべての人が個々の適性或能力に応じて自らの進路を切り拓くことができるよう，就職差別の解消と公平な社会の実現のために，進んで行動しようとする態度を育てる。

仲間づくり『学級目標をつくろう』（学級活動） 1時間  
 ・話し合いにより，学級目標を決定することを通して，一人一人がよりよい学級をつくっていかようとする意欲を高める。

人権感覚を磨く  
 『人権作文』『人権意見発表会』（学級活動） 3時間  
 『伝えたいことがある』（道徳科） 1時間  
 『背番号15が歩んだ道』（道徳科） 1時間  
 『ある日の午後から』（道徳科） 1時間  
 『しあわせ』（道徳科） 1時間  
 人権座談会 弘瀬理沙さん（学級活動） 1時間  
 知の総合化ノートの活用 随時  
 ・様々な立場の人の気持ちを考え，自分の生活を振り返ることで，差別や偏見のない社会の実現をめざすために行動しようとする意欲を高める。

『結婚について考えよう』（わたし 出会い 発見 Part2）（学級活動） 1時間  
 ・本人の人格や性格よりも職業や社会的地位，出身地などの価値観にとられる風潮が社会に根強くあることに気付かせ，自らの結婚観についてどうあるべきか考えさせる。

『私たち，結婚します!』『こんなん選べる!?!』（部落問題学習の授業ネタ）（学級活動） 2時間  
 ・心の弱さが生み出す偏見に気付かせ，その多くが相手のことをよく知らない不安や心配，恐怖からきていることを理解させる。  
 ・差別は当事者だけでなく周りの人を巻き込み，すべての人を不幸にすることに気付かせる。

『幸せのカタチ「家」』（わたしの願い）（道徳科） 1時間  
 ・かつての「家」制度に焦点を当て，その不合理さに気付かせるとともに，結婚を自分自身の問題としてとらえ，結婚する当人たちの意思が尊重される社会づくりをめざすという意識をもたせる。

自分をみつめて 『峠』（私たちの道徳）（道徳科） 3時間（本時3/3）  
 ・今なお残る部落差別に対して憤りをもたせ，同和問題を自分自身の問題としてとらえ，差別解消に向けた態度や実践力を育てる。

『娘の遺してくれたもの』（わたしの願い）（道徳科） 2時間  
 ・愛子さんと青年の美しくたくましい生き方から学んだことを，自らの生活に生かし差別解消に向けて行動しようとする態度や実践力を育てる。

## 5 本時の学習

### (1) 目標

自らの心の弱さや醜さを克服していった両親や、気高く生きようと結婚差別を乗り越えた二人の生き方から、よりよく生きるためにこれから自分がどのように行動すべきかを考え、実践しようとする態度を育てる。

ねらいとする道徳的価値	D - (22) よりよく生きる喜び
-------------	--------------------

- (2) 普遍的な学習のテーマ 人権と差別  
 個人人権課題名 同和問題

### (3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 前時の学習について振り返る。	○結婚差別を乗り越えた二人の生き方や両親の気持ちの変容を再確認させる。
2 差別をなくしていくために必要な行動を考える。	○ホワイトボードを活用し、班で意見交換させ、それぞれの思いや気づきを共有できるようにする。 ○身近な出来事や体験を想起させ、具体的にできることを考えさせる。 ①
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分のこれからの生き方について考えよう。</div>	
3 話し合った意見の中から、自分たちができることを発表する。	○発表者が、班の意見をまとめ、発表させる。 ○差別をなくしていくために、今自分にできることがあることに気付かせ、よりよく生きていこうとする意欲を高める。 ②
4 自分のこれからの生き方について発表する。	○友達と意見交換し、他の班の意見を聞いた後で、改めて自分の生活に置き換えて、差別解消のためにどう行動していくべきか考えさせ、発表させる。 ①②

### (4) 評価

- ・同和問題をはじめ様々な差別を自分自身の問題としてとらえ、差別解消に向けて、どのように行動していくべきかを考えることができたか。 【価値的・態度的側面】 ①
- ・友達の意見を受け止め、自分の考えを発表することができたか。 【技能的側面】 ②